

長期維持管理技術委員会 平成26年度第3回 議事要旨

日時：平成27年3月30日（月）15:00～17:30

場所：阪神高速道路（株）本社 11F 会議室

出席：委員長：宮川 豊章（京都大学大学院工学研究科 教授）

委員：小林 潔司（京都大学経営管理大学院 教授）

森川 英典（神戸大学大学院工学研究科 教授）

杉浦 邦征（京都大学大学院工学研究科 教授）

議事：

1. 前回議事要旨の確認
2. 大規模修繕・更新計画の事業化について
3. 大規模修繕・更新に係る選定の考え方と課題
4. 維持管理計画で考慮する橋梁性能とリスクの定量化
5. その他（今後の予定）

主な意見：

- ・ 今後とも、事業対象（優先度、対策方法等含む）については調査等データからその選定についての妥当性を継続的に検証し、必要に応じ適宜見直しを行う。
- ・ 対象橋梁の詳細調査において、PC 構造物等では内部損傷を外観から発見できない場合もあるため、その手法の適用には注意が必要である。
- ・ 詳細調査において、過去に実施した対策工の効果検証を行うことも重要である。
- ・ 調査から対策実施までの期間設定や経過観察方法について、損傷状態に応じて検討する必要がある。
- ・ 橋梁マネジメントシステムにおける健全度評価は、各部材と橋梁全体の両方について行う必要がある。
- ・ 大規模修繕、大規模更新を考慮した橋梁マネジメントシステムの高度化検討では、橋梁に要求される性能のうち、安全性を主な評価指標として実施することが望ましい。

以上